



社協だより

ほほえみ

No.57

2019年10月11日

- P2 ■ 共同募金委員会からのお知らせ
- P3 ■ ひとり暮らしふれあい招待会・温泉宅配
- P4 ■ 中学生ワークショップ・日帰りボランティア・下久井原防災訓練
- P5 ■ 夏休み児童デイサービス
- P6 ■ 福祉体験学習～三加和い＆菊水中央い～
- P7 ■ お茶の間筋トレ体操教室
- P8 ■ 香典返し心配ごと相談等事業

発行／社会福祉法人 和水町社会福祉協議会

TEL 0968-34-2366・0968-34-2390

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

春のひとり暮らしふれあい招待会を開催しました。

三加和地区は6月25日に開催し、70名の参加をいただきました。

午前中の講演では、熊本県金融広報委員会より金融広報アドバイザーの橋田敬一様にお越しいただき、悪徳商法や金融トラブルについて、熊本県のデータをもとに詳しく話を聞かせていただきました。

詐欺や悪徳商法も年々手口が巧妙化し、驚くほどの被害額が出ているようで、怪しい電話があったときには、必ず家族や近隣の方などに相談することが大切であるということ学びました。

午後からは役場まちづくり推進課より、笑いを交えた寸劇で、おでかけ交通あいのりくんの利用方法について教えていただきました。

また、池上直美様より踊りの披露をいただき、みなさん

楽しい時間を過ごされていました。

菊水地区は6月26日に開催し、75名の参加をいただきました。

午前中は前日と同じく金融広報アドバイザーの橋田敬一様より講演いただきました。

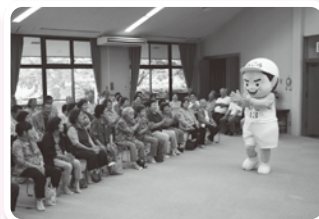
午後からは菊水ひまわり園との交流会で、歌や踊りを披露いただいた後、参加者の方との手遊びでふれあい、終始顔がほころびっぱなしの時間となりました。

また、飛び入りで和水町のゆるキャラ、なごみんが遊びに来てくれ、大盛り上がりで喜んでいただきました。

両日とも久しぶりに会われたご友人とたくさんおしゃべりをしながらの昼食会となりました。

《協力機関》

- ・和水町民生委員児童委員協議会
- ・和水町役場健康福祉課



なごみAG会 温泉とお弁当の宅配

9月4日、なごみAG会による温泉と手作りお弁当の宅配が実施されました。

ひとり暮らしの方に自宅温泉を楽しんでもらいたいと始まったこの事業も今回で27回目を迎えました。

当日は95軒のお宅へタンクいっぱい積まれた三加和温泉のお湯と、女性部によるおいしい手作りお弁当が届けられました。

お湯を買われた方は「今日は何回も入るよ。」と大変喜んでおられました。

じぶんの町を良くするしくみ。 10月1日(火)～12月31日(火) 赤い羽根共同募金にご協力お願いします。

和水町共同募金委員会では、運動月間(10月～12月)にかけて、各世帯をはじめ、企業・店舗・職域・学校募金など様々な場面で募金活動を展開させていただきます。皆様から寄せられた募金の8割程度が、**令和2年度**の事業費として和水町共同募金委員会に配分されます。昨年度は、皆様のご協力より、目標額に近い実績となりました。今年度の目標額は、**2,790,000円**です。1人でも多くの方のご理解・ご協力をお願い致します。



赤い羽根共同募金って、どんな募金?

●昭和22年、戦後の貧しさの中で、ともに助け合って生きていこうという熱い連帯感から始まった、70年を超える歴史ある運動です。共同募金は、社会福祉法という法律を根拠として各都道府県を単位として行われ、災害時など例外を除き、集まった寄付金はその都道府県内で使いみちが決められます。つまり、寄付した方々の地域に還元される寄付金です。



募金なのに、なぜ目標額があるの?

●共同募金は、集まった寄付金を特定の配分先などに単純に配分しているのではありません。まず、民間の社会福祉施設や団体、社会福祉協議会などからあらかじめ配分の申請があがってくるところから始まります。

その申請内容について、その必要性・緊急性などを審査し、寄付者の方々に納得していただけるような配分計画をたて、その計画額を目標額として行う募金です。言い換えると、目標額は最小限度、これだけは是非必要だという計算から割り出された金額という事です。



募金は、どんなことに使われるの?

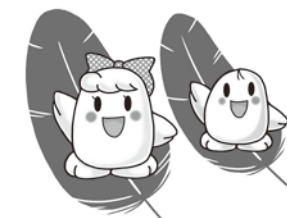
●共同募金は、民間の社会福祉活動の資金として使われます。広域的には、県内の民間福祉施設や福祉団体などに配分されます。共同募金によって、民間の社会福祉施設や社会福祉協議会などの社会福祉の団体は、様々な活動が行えるわけです。

そして、赤い羽根共同募金は、熊本県共同募金会が主体となり、その下部組織である和水町共同募金委員会によって実施されます。つまり皆様からお寄せいただいた募金は、**和水町の福祉のために**役立てられています。

和水町の主な配分事業

ボランティア活動費 51万円

各ボランティア団体や町ボランティア連絡協議会など町内のボランティア活動推進のため。



総合福祉的事業 107万円

社協活動の広報・啓発活動を通して、誰もが安心して暮らせるまちづくりのため。

老人福祉活動費 44万円

ひとり暮らしふれあい招待会や老人クラブ連合会育成費など。地域または組織間におけるつながりの構築を図る。

児童・青少年福祉活動費 32万円

児童・生徒を対象とした児童デイサービスやワークキャンプ事業・福祉体験などの福祉教育の推進を図る。

夏の思い出
づくり!!

児童デイサービス



毎年恒例の夏休み児童デイサービスが7月22～23日低学年、7月24～25日高学年を対象に開催しました。

初日は大雨が降る中で開催が危ぶまれましたが、何とか実施することが出来ました。

毎日、午前中は学習の時間をとって、参加者全員で宿題を進めました。たくさん宿題に悪戦苦闘している様子でしたが、中学生や大学生がボランティアで参加されていたお姉さんたちに教えてもらいながら、何とか先に進んでいるようでした。

昼食はカレーとそうめん流しをなごみ食の会の方に準備していただきました。

カレーは最高4杯おかわりする子もいました。

そうめん流しでは3本つなげた竹を2線つくり、流れてくるそうめんを必死につかんでいました。

両メニューとも、おなかいっぱいになった子どもたちの笑顔が印象的でした。

お昼休みは館内でお手玉やトランプをしたり、外では鬼ごっこをし

たり草すべりをしたりして過ごし、汗だくになりながら走り回っていました。

午後からは楽しみの体験学習です。1日目は大学生のボランティアによるバルーンアートづくりでした。細長いバルーンをねじったりして犬やリボン、剣などが完成しました。

2日目、3日目は鹿央町の井出先生に講師として来ていただいて、カードゲームやボードゲームの体験をしました。

外国のゲームや珍しいゲームに子どもたちも熱中して、時間が足りないくらい遊びました。

4日目は熊本県博物館ネットワークより講師に来ていただき、葉脈標本を作りました。

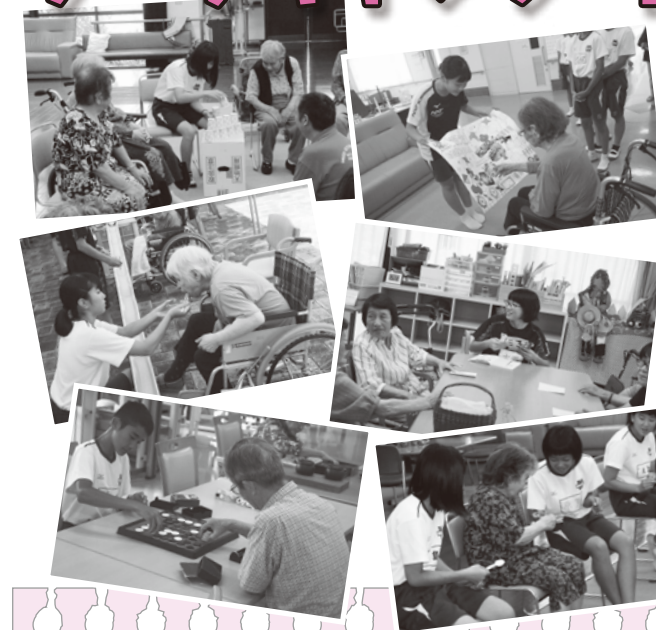
葉っぱを歯ブラシでたたきながら葉脈をとりだし、それぞれ好きなレイアウトでラミネートし、しおりを作りました。

最後はおやつの時間でかき氷を食べました。

その後お迎えが来られる間もたくさん遊んでいたようで、夏の思い出作りになったと思います。



ワークキャンプ・日帰りボランティア



今年も町内3施設にご協力いただき、ワークキャンプ・日帰りボランティアを実施しました。

初めての福祉施設での経験に最初は戸惑いも見られましたが、施設の職員さん方に教えていただいて、食事の介助や移動のお手伝いなど、どんどん上達していくのが見て取れました。

各施設の利用者の方々と交流など大変貴重な経験をさせていただきました。

受入いただきました施設の皆様方に改めてお礼申し上げます。

(実施施設)

- ・7月26日 清風苑
- ・8月1～2日 和楽荘・きくすい荘

和楽荘ワークキャンプ

三加和中3年 轟 咲翔

今年は2回目のワークキャンプでした。僕は今回初めて食事のお手伝いを多く手伝えました。

最初はうまくできるか心配だったのですが、やってみると教えられたとおり出来て楽しいという思いも芽生えました。

他にも昨年以上に昨年寄りの方と触れ合いました。ボールを使ったゲームを行い、一緒に活動を行った皆さんとも気さくに話す事が出来ました。

僕にとって介護職はきつくて大変な仕事ではないかという疑問がありました。きついなとは思いますが今回の経験を経て介護職にはとても大きなやりがいがあるんだなということを強く感じました。

きくすい荘ワークキャンプ

三加和中2年 原賀 瑠菜

私は今回初めてボランティアをして、最初は戸惑いもあったけどだんだんしていくうちにすることも覚えていき、仕事の大変さが分かってきました。

特に難しかったのは、昼食をそれぞれの机に運ぶことでした。一人一人の名前を覚えたり、大きな声で名前を呼んだりしました。

そして、利用者の方とのふれあいの時間は、とてもリハビリになる手の運動や頭の運動をしました。

私は今回のボランティアを通して仕事の大変さや、時々楽しいと思える時などが分かりました。

来年は3年生だけど、また行きたいと思いました。

清風苑日帰りボランティア

三加和中1年 古郷 ほの香

私は清風苑での介護ボランティアで、利用者の方と話をしたり、遊んだり、ケアマネジャーのお手伝いをしたりしました。

色々な方とコミュニケーションをとってお話することを目標としていましたが、はじめて会う方とお話することは難しかったです。それでもお願いを受けたり声をかけてもらったりした時はうれしかったです。そして、だんだんいろんな方とお話することが出来るようになってきました。

特に利用者の方とトランプや大豆つかみのゲームをして距離をつかむことが出来ました。

帰りの会ではピアノを弾いて、たくさんの方が喜んでくれたのでうれしかったです。

下久井原区防災訓練に参加しました!!



8月18日(日)、下久井原区において防災訓練が実施されました。

地区の住民約60名が参加され、公民館への避難、有明消防から救命法や消火器の使い方、逃げ遅れた方を想定した地元消防団の出動など盛りだくさんの内容で行われました。

社協は、炊出し体験を担当し、ハイゼックス袋を使った炊飯方法の講習、大釜を使った炊出しを行いました。

今回の防災訓練で、日頃からの防災への備えの大切さの再確認や、地域住民同士の結束力向上につながったのではないのでしょうか。

介護予防教室活動紹介～お茶の間筋トレ～



“自分の出来る事を出来るところまで無理せず頑張る”をモットーに、町内57地区(社会福祉協議会実施地区33地区)で介護予防教室(お茶の間筋トレ)が実施されています。

週1回の開催を基本とし、約90分程度の時間の中で、血圧測定や筋トレ、ダンス、レクリエーション、**マッサージ**など参加者とボランティアスタッフ、職員が一緒になって活動しています。**(自主活動もあります)**
各地区の開催日は下の表のとおりです。見学は自由に出来ますので、皆さんお待ちしております!

<各教室の実施日>

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
AM9:30 ～ 11:30	☆焼 米 (焼米公民館)	☆下津原西 (下津原西公民館)	☆立 石 (立石公民館)	☆米渡尾 (米渡尾公民館)	☆下津原東 (下津原東公民館)
	☆前 原 (前原公民館)	☆鷺 原 (鷺原公民館)	☆長小田 (長小田公民館)	☆志口永 (志口永公民館)	☆岩 尻 (岩尻公民館)
	江 栗 (江栗公民館)	☆中 岩 (中岩公民館)	☆上 岩 (上岩公民館)	前 野 (前野公民館)	内 田 (内田公民館)
	久米野 (久米野公民館)	板橋東 (台公民館)	下大田黒 (下大田黒公民館)	緑 (三加和公民館)	☆野 田 (野田公民館)
	西吉地 (村公民館)		皆行原 (皆行原公民館)	☆下 岩 (下岩公民館)	☆上十町 (猿懸公民館)
	☆山十町 (橋上公民館)			中吉地 (山森公民館)	中十町 (中十町公民館)
	中十町 (集会センター)				
PM13:30 ～ 15:30	☆大江田 (大江田公民館)	☆本 村 (本村公民館)	☆下久井原 (下久井原公民館)	☆日 平 (日平公民館)	☆白 石 (白石公民館)
	用 木 (用木公民館)	☆古 閑 (古閑公民館)	藤 田 (藤田公民館)	☆牧 野 (牧野公民館)	☆上久井原 (上久井原公民館)
	☆平 野 (平野公民館)	中 路 (中路公民館)	中 原 (中原公民館)	☆江光寺 (江光寺公民館)	馬 場 (馬場公民館)
	☆西 口 (平々公民館)	☆上和仁 (中組公民館)	☆春 富 (春富集会センター)	ロマン館	上津田 (上津田公民館)
	上大田黒 (上大田黒公民館)	和仁東 (和仁東公民館)	☆寺 山 (寺山公民館)	☆中和仁 (鬼丸公民館)	☆東吉地 (切畑公民館)
			北 原 (北原公民館)	和仁西 (和仁西公民館)	

☆印は、社協が町から委託を受けて実施している地区になります。

菊水中学校3年 「認知症サポーター養成講座」

9月19日(木)

認知症について今の知識より少しだけ理解を深めることを目的とし、自分たちに何が出来るのかを課題において講座を進めました。これから、和水町を支える一員として、今回の学習がどの様に活かされるか楽しみです。



社会福祉士相談援助実習終了



熊本学園大学
3年
山田 祐菜

今回実習生として、受け入れて頂き有難うございました。私は、菊水地区の出身ですが、本町にどのような福祉課題や特徴があって、和水町社会福祉協議会がどのような役割を果たしているのか、興味があり実習を希望しました。

実習中は、様々な事業に参加させて頂き、利用者の方、地域の方と触れ合う事が出来、沢山の学びを得ました。この学びを活かし、これからも社会福祉の勉強に励みます。

最後に、実習にご協力頂いた皆様本当に有難うございました。



小学校福祉体験学習

～みんなで福祉について学ぼう!!(手話・車いす・点字・高齢者体験)～

◆三加和小学校での体験の様子

6月21日

●車いす体験



4年 平 真斗

僕は公民館で遊びで乗ったことがあるけど、本格的にやると操作が難しくてもう一度体験したいです。
時間があつたらいつでも教えに来てください。

7月5日

●手話体験

【ゲストティーチャー】
・竹下久美子氏 ・原賀 和代氏
・池上 直美氏



4年 櫻井 怜南

耳の聞こえない人は手話を使ったりしていて、耳が聞こえなかったりすると大変だと思いました。私は手話をもっと勉強しようと思いました。
耳の聞こえない人と接するとき手話でお話出来るようになりたいと思いました。

7月12日

●点字体験

【ゲストティーチャー】
・石原 吉朗氏



4年 亀崎 美宇那

私は目が不自由な人を見たことがないから、はじめて目が見えない人が点字をしているのだと学びました。
だけど、点字を打つと聞いてどうやってやるのだろうと思っていましたが、打って読んでもらってOKがでてうれしかったです。

◆菊水中央小学校での体験の様子

7月3日

●車いす体験



4年 塩山 ゆめあ

私が車いすをおす時、段差や曲がり角が、とても難しく大変でした。体験中に段差から落ちてしまいました。乗っている人に、けがをさせないように声をかけを大切にしようと思います。

7月10日

●高齢者疑似体験



4年 豆塚 りん

私は体験を通して、動き方や大変さが分かりました。ペットボトルからコップに水を入れる時は、量が分からなくて、あふれそうになりました。
今日の体験を活かして、きくす荘に行きたいです。

9月2日

●点字、アイマスク体験

【ゲストティーチャー】
・石原 吉朗氏



4年 越地 彩音

私は、点字・アイマスク体験がとても楽しかったです。点字では自分の名前を打ち、白杖の事について知ることが出来ました。また、お札の角に印がついていることを初めて知りました。

寄付御礼

R1年6月28日～R1年9月20日 受付分

次の方々より香典返しに代えて多額の寄付をいただきました。
ご報告と共に、ご逝去された方々のご冥福をお祈り申し上げます。

寄付者	物故者	行政区(住所)
大群俊一様	亡父) 初實	蜻浦
高木幸誠様	亡母) キクエ	竈門
齊木孝子様	亡夫) 正一	中原
北原正美様	亡母) 須磨	下平野
池田直樹様	亡母) 麗子	山十町
藤原勝喜様	亡母) 廣美	野田
西川宏二様	亡母) ツネ子	内田
豆塚公明様	亡母) 瑞代	中十町
庄山輝恵様	亡子) 憲一	下津原東
木原道代様	亡従兄) 悟	藤田
福田京子様	亡夫) 義則	前原
西川茂様	亡母) 朝子	江光寺
山崎利郎様	亡父) 清	大屋
石原弘久様	亡姉) 洋子	馬場
田原貞彦様	亡妻) 瑞枝	下久井原
柿原敦美様	亡母) 敦子	上和仁
居石龍次様	亡父) 幸	内田
邊原秀雄様	亡母) 磯子	中吉地
池上和子様	亡夫) 民男	中十町
鶴和明様	亡母) カムロ	和仁
星子浩良様	亡母) 婁利子	上平野
吉村桂子様	亡夫) 幸徳	中岩
井田昭子様	亡父) 繁	上和仁
嘉島文子様	亡夫) 基二	上久井原
近藤洋子様	亡夫) 一夫	中路
菊池みゆき様	亡夫) 政隆	内田
山元章様	亡母) サエ	天草市

心配ごと相談・補聴器相談・法律相談

	10月	11月	12月
心配ごと相談	10月11日(金) 10:00～12:00 福祉センター 行政相談委員1名 民生児童委員2名	11月8日(金) 10:00～12:00 本村公民館 行政相談委員1名 民生児童委員2名	
法律相談	10月25日(金) 10:00～12:00 福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権 有) 《要予約!》	11月22日(金) 10:00～12:00 福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権 有) 《要予約!》	12月20日(金) 10:00～12:00 福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権 有) 《要予約!》
補聴器相談		11月15日(金) 9:00～12:00 福祉センター (有) 玉名補聴器 センター対応	

福祉機器の貸出

社協では、在宅で生活を送られる方や、正月・お盆等で一時帰宅の場合や緊急的に必要な方に対して、福祉機器の貸出(有料)を実施しています。下記の物を取り扱っています。貸出を希望される方は、社協までお問い合わせください。

※ただし、介護保険利用者の方については、
レンタルをお願いします。
(担当ケアマネージャーさんにご相談を!)

【福祉機器】

- ☆ギャッジベッド(電動・手動)
- ☆車いす対応車輛
- ☆エアーマット ☆車椅子



善意寄付

下記の方より、善意の寄付をいただき、ありがとうございました。寄付については社協事業に活用させていただきます。

◇金一封◇

- ◆高松 寿英様(寺山)
- ◆緑彩館出荷協議会
- ◆匿名(2件)

編集後記

9月に入ってから事務所用のメールの調子が悪く、数日間そのままにしていたら、遂に送信できない事態に。業者の方に対応して頂き、無事に使用できるようになりました。原因は、パソコン本体のバージョンとメールのサービス終了に伴うものでした。事前に知らせが届いていたみたいですが、見落としていました。改めて、書類にはきちんと目を通して、分からない時は専門家の方に助言を頂くことが大切であると痛感しました。(石原)